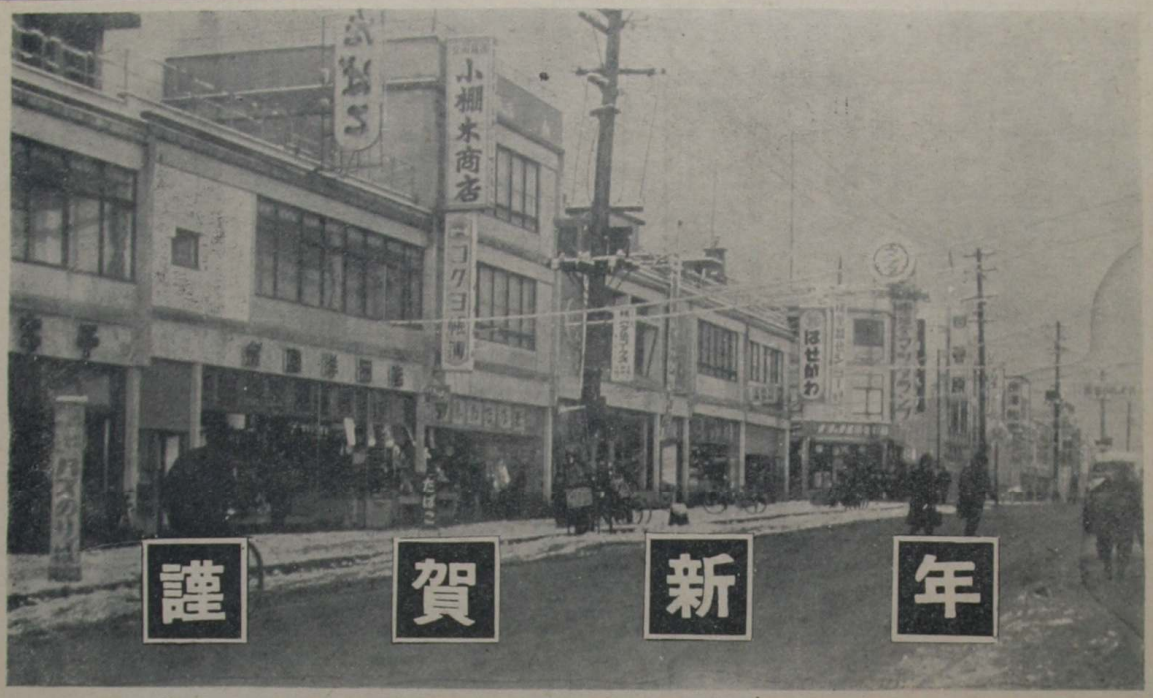
34年

大館市政だより

第六十一号
（毎月一回発行）
発行所 秋田県大館市役所
編集兼発行人 竹内福哉



新しい顔の大館（中心街「防火帯」通り）

本選挙人名簿
有権者数確定
男 一五、二九六人
女 一七、一四二人
計 三二、四三八人
昭和三三年九月廿日

ひたすら建設の一念あるのみ

市長 佐藤敬治

大館市は再建団体としての窮迫な財政事情下にあるが、だからといって合併による住民の期待する事業をやめたり、遅らすことの理由にはしたくない。むしろそれ以上に市民の利益と発展のために積極的に臨んできたつもりである。市民の皆さんが私を選んで下さった気持も若い者のみが享有するところの意気と熱、積極性を買ってのことだろうと思う。"さわらぬ神にたたりなし"といったやり方では、市民の利益も発展も期待できるものでない。行政を主宰するものは明確な判断と確乎たる覚悟、即ち腹がまがなくてはいけないと思う。

☆　☆　☆

年頭の御挨拶を述べようとしたのだが、話題が話題だろうと思われるが、結果はどうあっても市と市民の不利益は脱れないことで、一部市民の誤解から、このような順度に出られたことは寡外であり、情けないことだという外ない。

何れ明言の機会があると思うが、大館市が今後中央地方の援助を得て益々発展し、市民生活の基盤を固めようとするとき、ささいな事で、自らの信望を喪失するようなことがあっては遺憾この上ないことであり憂うべきことだと思う。事件の落着を待って然るべき後援を構ずることになろうが、任期も間近いことであり、厳然ことに対処し、復興に或は建設に一層努力して行きたいと思う。

一部には市職員個人に不正があるのではないかと誤解されている向きもあるようだが、そのようなことは断じてないと確信する。従って市民の皆様も、誤った判断に動揺されることのないよう御理解と御協力をお願いしたい。

☆　☆　☆

新しい年は、いろいろな寡味で転機だと思う。前にも述べたように、火災復興も終局のめどがつき、懸案の事業もあら方完成をみることができたのであるからこれからの大館は新しい基盤に立ってスタートすることになろう。新しい年のかどでを皆様とともにお祝いしたいと思う。

新しい年は、皆様に幸の多い年であるようにお祈りして私の御挨拶にかえます。

新大館完成へ第二のスタート

議長 渡部綱次

昨年は、市役所で不祥事件をおこし、市民各位に非常に御心配をおかけしましたことについて、衷心よりお詫び申上げます。いずれこの件については、法の下に明らかになることでありましょうから私見はひかえさせていただきます。

昭和二十二年四月、戦前の市町村制度が発止され、新たに地方自治制度が布かれてから十一年、この間地方自治法が改正されること実に五十五回二十八年には町村合併促進法の施行、三十一年には新市町村建設促進法の施行と目まぐるしい回転を続けてきました。

市にとりましても、二十六年四月市制の施行、二十八年四月は片町の大火、三十年三月は一町五村の吸収合併、同年五月に駅前の大火三十一年八月は大町一帯の大火、火災復興事業等、これ又息つくヒマがないと云ってよい程の回転であり、そして、二十八年の片町の大火を端として街の様相が一変いたしたのであります私は二十六年から三十三年までの丸七年というものは建物に例えると基礎段階であったと、それがようやく終って、今年から完成への第二期工事に入ったと、こう考えています。

人はよくこう言います。"地方公共団体は仕事をするに当っては、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない"と正にそのとおりで法でも、それを強いております。どこの市町村でも、少い経費で大きな効果を挙げることに努力していることには変りはないと思う。しかしこの「エビで タイを釣る」ことは、並大ていな努力でできるものではありません。

言うは易し、行い難しで、この行政効果の原因は種種もありますが、市民の御協力をあおいで、大いなる行政の効果を挙げたいものと希ってやみません。

今年こそは市民に御心配をかけることのないように強い御批判を頂戴しないように大いに努力する所存ですので、市民各位におきましても、深く御理解の下に於て御協力あらんことをおねがい申し上げて、年頭の御あいさつにかえます。

大館市議会

議長 渡部綱次
副議長 佐藤栄治
議員 佐藤猪太郎
石川芳男
菅原勇治
釜谷義雄
高松善治郎
虻川耕一
八神鎗三
佐藤民二郎
木村忠助
越山米太郎
嶋崎泰光
畠山俊夫
桜庭重蔵
小畑勇吉
越前孫吉
近藤久司
築館米三郎
渡辺清三郎
畠山耕英
石戸谷鎗吉
菊地忠吉
石田徳太郎
佐々木正治
桜庭小右エ門
村井信一郎
太田部武蔵
上村清左エ門
奈良勉
小坂元治
武茂信雄
藤嶋米太郎
石田惣蔵
菅原一雄

議会事務局長 鎌田勝郎

大館市役所

市長 佐藤敬治
助役 小坂真司
収入役 石田純二郎
総務課長 竹内福哉
財政課長 田村正六
民生課長 竹内省三
商工課長 小笠原三郎
農政課長 富樫政市
林政課長 武石圭一
建設課長 吉金亮三
収入役課長 齊藤稔
水道課長 唐沢重雄
支所長 伊藤健治郎
収納課長 近藤喜三
上川沿 本多与市郎
下川沿 一関儀一
二井田 小林賢之助
真中 石戸谷紀三男
十二所 三ノ井孝一郎
福祉事務所長 丸谷正己
教育委員会教育長 伊藤経雄
選挙管理委員会書記長 鎌田嘉太郎
その他職員一同